

地域で不足する外来医療機能（予防接種）の追加について （尾張中部地域）

1 概要

(1) 経緯

国のガイドラインに基づき、令和2年3月に「愛知県地域保健医療計画」の一部として「愛知県外来医療計画」（令和6年3月改定、現行計画期間：令和6～8年度）を策定し、外来医療に関する情報の提供を行うとともに、外来医療機関間での機能分化・連携の方針等を協議する場を設置して、外来医療に係る取組を推進しているところです。

(2) 地域で不足する外来医療機能

- 外来医療計画において、ガイドラインで示す外来医療機能（初期救急医療、在宅医療、産業医、学校医、予防接種等の公衆衛生に係る医療）について、今後の需要増や担い手の不足等により不足していくことが見込まれることから、協議の場において、地域で不足する外来医療機能に関する検討を行うこととされています。
- また、名古屋・尾張中部医療圏（構想区域）は、外来医師偏在指標に基づく「外来医師多数区域」として設定されており、診療所を開設する新規開業者に対し、「外来医療機能分担申出書」の提出を求めることにより、地域で不足する外来医療機能を担うことを求めることとされています。
- 名古屋・尾張中部医療圏（構想区域）のうち尾張中部地域は、協議の場（名古屋・尾張中部構想区域地域医療構想推進委員会調整部会・令和3年3月10日開催）での協議の結果、「産業医」を地域で不足する外来医療と位置づけています。
- なお、名古屋・尾張中部医療圏（構想区域）のうち名古屋地域における地域で不足する外来医療は、名古屋・尾張中部構想区域地域医療構想推進委員会調整部会（令和3年1月15日書面開催）での協議により「初期救急医療、在宅医療、産業医、学校医」と位置づけていましたが、本年7月開催の同調整部会（令和6年7月19日書面開催）での協議の結果、「予防接種」が追加され、2024年度第1回名古屋・尾張中部構想区域地域医療構想推進委員会（令和6年7月26日開催）で報告いたしました。

2 地域で不足する外来医療機能の追加

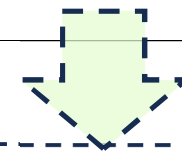
- 「愛知県地域保健医療計画」（計画期間：令和6～11年度）において、新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、新たな事業として新興感染症への対応に関する事項が追加されました。

新型コロナウイルス感染症まん延時にワクチン接種の担い手不足が生じたことから、今後の新興感染症のまん延に備えて対策を講じる必要があります。

- また、名古屋・尾張中部医療圏（構想区域）においては、令和3年度より診療所を開設する新規開業者を対象に「外来医療機能分担申出書」の提出を求めています。尾張中部地域で不足する外来医療機能である「産業医」について、「産業医資格がないため」等の理由から、「担えない」とする新規開業者が見受けられます。

<参考> 外来医療機能分担申出書 届出状況（令和3～5年度）

不足する 外来医療機能	調 整 部 会					計
	名古屋北	名古屋南	名古屋西	名古屋東	尾張中部	
初期救急医療	18	17	14	23	-	72
在宅医療	29	23	27	31	-	110
産業医	27	11	14	12	2	66
学校医	21	17	13	26	-	77
担えない	41	9	35	11	6	102



新興感染症への対応及び新規開業者に地域で不足する外来医療機能を担うことを求めるため、**名古屋・尾張中部医療圏（構想区域）のうち尾張中部地域の不足する外来医療機能に「予防接種」を追加します。**

※名古屋・尾張中部構想区域地域医療構想推進委員会（尾張中部地域）調整部会・令和6年11月6日開催で承認済